vol.63
2026年
1月

東京の生協のまちづくり活動トピックス

今年の干支は午。古くから馬は、その力強く駆ける姿から「躍進」や「向上」の象徴とされ、物事がスピーディーに好転する年と言われています。また、馬は人との関わりが深く、地域を支える大切なパートナーでもありました。「東京の生協のまちづくり活動トピックス」も、みなさまの良きパートナーとして活動のお役にたてるようなホットなニュースをお届けしていきたいと思います。　本年もよろしくお願いいたします。

生活クラブ生協　もしバナゲームの体験会を開催しました

練馬まちづくり定例会で「もしバナゲーム」を体験した生活クラブ生協の理事から、組合員にも「もしバナゲーム」の体験を広げていきたいという要望を受け、12月23日に体験会を開催しました。

もしバナとは「もしもの話」、自分が人生最後のステージで大切にしたいことに気づき、もしもの時に備える話し合いのきっかけを作るゲームです。ゲームの説明や進行は看護師でもある東京都生協連の職員、齊藤恵子さんが行いました。自分の人生で大切にしたいこと、やりたいこと、自分の価値観に気づいたり、他の参加者の考え方も知ることができます。今回はそれ以外にも両親の介護や看取りの体験を話し合い、つらかった経験を語る方もいました。自分の老後や介護が必要になった時に思いを馳せて、心配なことや現在備えていることなどを交流しました。参加者からは、「今を大切に人生を豊かに暮らすことを考えるきっかけにもなった」「メンバーが変わると違う意見が聞けるので今後も取り組みたい」という感想が寄せられました。

北東京生活クラブ
大泉センターで開催

荒川区まちづくり　10年目のコープカフェに感謝状をいただきました

「荒川コープカフェ」は　荒川区社会福祉協議会ふれあい粋・活きサロンとして、荒川区まちづくりメンバーが運営している地域の居場所です。月に一度、東尾久本町通りふれあい館で開催しているこの取り組みは2015年からスタートして2025年で10年目を迎えたことから、荒川区社会福祉協議会より感謝状をいただきました。これからも生協間で連携し、地域の人々がつながる居場所づくりをすすめていきます。

12月は毎年恒例のクリスマス会で、東京ふれあい医療生協の理事の方が作ってくださった美味しいクリスマスケーキを食べながら「今年いちばんハッピーだったこと」をテーマにおしゃべりをしました。

コープみらい・東都生協・東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協・ワーカーズコープ・荒川区社会福祉協議会・東尾久地域包括支援センター

生協のまちづくり☆八王子　「地域」×「共創」

八王子市総合経営部経営計画課の請川さん、岸野さんにお越しいただき、「八王子未来デザイン2040」についてお話をうかがいました。

「八王子未来デザイン2040」は、市民と行政が一体となって目指すまちづくりの設計図であり、その実現に向けた具体的な施策をまとめた市の最上位計画です。DXやカーボンニュートラルなどをキーワードに、地域自治や共創を重視し持続可能なまちづくりをすすめています。買い物支援や見守り等の活動を通じ、今後生協がどのように地域と共創を深めていくべきか、その展望について意見交換を行いました。

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・自然派くらぶ生協・八王子保健生協・ワーカーズコープ

東京都生協連　12月の会館フードドライブは年末・年始セット！

年末ということもあり、今年はお蕎麦やお餅がたくさん寄せられました。お菓子も含めて合計506点の食品を桃園区民活動センターで開催されている「ママほっとキッチン」に寄贈しました。

予告

2026年3月9日（月）13時30分～16時30分

まちづくり・地域活動交流のつどい

会場：東京都生協連会館3階会議室

◇プログラム◇
- 学習講演　天野敬子さん
- 生協の事例報告やミニ体験
- 交流タイムなど

※詳細は近日発行のチラシをご覧ください　↑申し込みフォーム

編集発行：東京都生活協同組合連合会

まちづくり活動のHPはこちら▶